



環境対応 新商品のご案内



純国産バイオマス資源を活用した、新製品



食べられなくなったお米や、非食用のお米【資源米】を原料とした製品です。
再生可能な植物由来の原料のため、カーボンニュートラルで焼却処理された場合でも、植物が成長過程でCO₂を吸収しているため、大気中の二酸化炭素を増加させない効果があります。



また、減反政策で利用されていない耕作放棄地から収穫する非食用米を
利活用することで、水田の減少を食い止め日本の稲作文化の存続へも貢献します。

食べられるお米を使用するのではないので、食用との競合の心配はありません

食料自給率が40%以下の日本の中で、唯一の自給率を誇るお米の中から

非食用用途のお米を使うことにより、海外に原料を依存する事のない

純国産原料から作られた、バイオマス製品となります。



※【資源米】を原料とした、スプーン・フォーク、レジ袋・ショッパーのお見積り・お問い合わせは、担当までお申し付けください。



★ バイオマスプラスチックとは？？？ ★

「バイオマス」は動物や植物から生まれた再生可能な有機資源であり
バイオマス資源を原料として作られたプラスチック樹脂のことをいいます。



バイオマス資源は、太陽・大気・水・大地・海などの恵みから作り出されるものであり
枯渇することのない、資源であるとともにバイオマスの炭素は、もともと大気中のCO₂
を植物が光合成により固定化したものなので、燃焼等によりCO₂が発生しても
実質的に大気中のCO₂を増加させない「カーボンニュートラル」な資源です。



★ なぜ？ バイオマスプラスチックを使うのか ★

【地球温暖化の防止】

カーボンニュートラルなバイオマス原料を使用する事で、CO₂の排出を抑制します。




【循環型社会の形成】

資源の使い捨てから、再生可能な国内未利用有機資源を有効活用します。
枯渇の恐れのある、化石資源の使用量を削減することができます。

【農山村の活性化】

不足事態の食料安全保障の為の、必要農地の確保として、耕作放棄地などを利用し
非食用用途として作付けした有機資源の利活用が可能となります。



国内未利用バイオマス資源を有効活用する事で、地球温暖化の防止・化石資源削減への貢献
及び、耕作放棄地がなくなり、水田減少を抑制することで食料危機への対策が可能です。
海外依存型の現在から、安定調達可能な非食用国内有機資源を利活用することで
純国産、地産地消の「新たな産業」が生まれ、国内産業の活性化、将来的な環境改善に貢献することができます。

★ バイオマスプラスチックの効果とは？ ★



5gの既存製品100万本を
最終処分時に焼却処理をおこなった場合
5g × 100万本 = 5tの石油樹脂を使用
その際に排出されるCO₂は・・・15.7t



51% お米を配合すると・・・
2.5tの石油資源の削減と
8tのCO₂排出を抑制することができます。



※焼却処理でのCO₂排出量の換算には
炭素が燃焼した場合のCO₂の増加量と、
オレフィン樹脂の炭素量より換算し算出しています。